

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 北海道清里高等学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒099-4405
北海道斜里郡清里町羽衣町38番地

E-mail kiyosato-z0@hokkaido-c.ed.jp

Website http://www.kiyosato.hokkaido-c.ed.jp

児童生徒数 男子 24名 女子 35名 合計 59名
児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- ・国際理解・・・ニュージーランドへの海外派遣研修（12名・10日間）
ニュージーランドのモトエカ高校での留学（2名）
ニュージーランドのモトエカ高校からの留学（1名）
- ・環境・・・学校生活環境美化（プランターによる花壇作り）
- ・気候変動・・・南極教室（地理歴史授業）
- ・生物多様性・・・南極教室（地理歴史授業）
- ・防災・・・避難訓練（学校行事）
防災学習（赤十字出前授業）
AED講習会
交通安全街頭啓発活動
- ・食育・・・赤十字出前授業（非常食の炊き出し）
じゃがいも栽培と調理（理科と家庭科）
- ・伝統文化・・・清里神社祭典ボランティア
ニュージーランド研修で伝統文化を紹介
かまくら作り
- ・その他（社会参画、ボランティア）
 - 社会参画・・・町内幼稚園での訪問演奏会（芸術の授業）
町内中学校でのサイエンスラボ出前授業（理科の授業）
焼酎工場見学（フードデザイン）
 - ボランティア・・・ユネスコJRC部と体育厚生常任委員を中心とした活動
（緑の募金、通学路清掃、花の駅長さん事業ボランティア、、斜里郡3町ヤングボランティアの集い、赤い羽根
共同募金、ヤングボランティア体験ディキャンプ2016）

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（)



緑の募金



非常食炊き出し



通学路清掃



清里中学校でサイエンスラボ出前授業



ふれあい広場きよさとボランティア



清里神社祭典ボランティア



プランターによる花壇作り



AED講習会



ニュージーランド研修



伝統文化紹介



ニュージーランド報告会



交通安全街頭啓発活動



やまと幼稚園演奏



焼酎工場見学



じゃがいも栽培と調理



花の駅長さん事業ボランティア



斜里郡3町ヤングボランティアの集い

「南極の困難 一歩ずつ行動」

清里高 昭和基地とテレビ電話



i Padのテレビ電話機能を使い、南極地域観測隊に質問する生徒

【清里】約1万6千キロ離れた南極昭和基地とタブレット端末のi Padのテレビ電話機能で映像をつなぎ、観測隊員から授業を受ける「南極教室」(国立極

地研究所主催)が14日に清里高で行われた。

講師を務めた第56次南極地域観測隊・医療担当の及川欧さんと、同校教諭が知人の縁で実現。1〜3年生約60人が参加した。

及川さんは南極や観測隊について解説した後、基地内を案内。吹雪で白く染まる南極の様子や、野菜を育てる「グリーンルーム」などを画面に映して紹介。続いて、観測隊の調理担当や観測担当に生徒が質問した。「珍しいオーロラの色は」という質問には、「緑が多いが、大きなオーロラではピンクや紫に見えることもある」と回答があった。最後に及川さんは「南極では自分の荷物だけで生きていく工夫をしなければならぬ。困難があっても、できることから一歩ずつ行動できるように」と教訓を語った。

(米田真梨子)